

一般質問



6月15日、17日の3日間に行われた一般質問を行いました。一般質問とは市政全般について市の考えなどを聞くもので、23人の議員から質問が行われました。主な内容は次の通りです。
会派名は略称です。(正式名称は欄外参照)

子ども育成、教育など

子ども 3歳児健診の視覚検査に
屈折検査機器の早期導入を
公明

問 子どもたちの弱視を早期に発見し、適切な治療につなげるため、3歳児健診の視覚検査において、屈折検査機器を早期に導入すべきである。屈折検査機器の有用性に関する認識と早期導入に向けた所見を問う。

答 屈折検査機器による屈折、眼位などの検査は、遠視、乱視等の屈折異常を発見できる有用な検査であると認識しており、屈折検査機器の導入については、引き続き、他都市の状況把握や、健診会場で必要となる実施体制などの課題も含め、検討していく。

子ども 避難指示発令で休園が長引く
時の保育の在り方の検討を
令和会

問 市は、避難指示発令時の休園について通知を出している以上、保育園が休園しやすい環境づくりを考える必要がある。休園が長引く場合の保育の継続の在り方について検討すべきと考えられる所見を問う。

答 避難指示発令に伴う休園時の対応の検討には、保育を提供する対象者の考え方や安全に

子ども ケアラーバーに対する
継続的支援を
公明

問 誰かに頼れず孤立し不安定になりがちなケアラーバーに、これまで生活の場だった施設において、自立後もサポートできる体制や定期的な訪問する支援があってもいい。マンパワーを支援する議論が望まれるが所見を。

答 本年度から児童養護施設にも自立支援担当職員を配置し、定期的な訪問による支援を行うなど継続的なアフターケアの充実とともに、心理療法担当職員も増員し、訪問も含め、施設による心理的サポートの強化を図っており、今後もしっかりと取り組む。

子ども 医療的ケア児・者への
支援の充実を
令和会

問 医療的ケア児・者の暮らしの現状は非常に厳しく、元

気なまち福岡市のイメージからは程遠い。本市として、国任せでは

なく、市民と一緒に考え、より良い施策を作ってもらいたいと考えられる所見を問う。

答 子どもを安心して生み育てられる環境づくりに向けては、医療的ケアが必要な児を社会全体で支え、個々の状況に応じて適切に支援していくことが重要である。今後とも、本人や家族の話

子ども 保育園や幼稚園で
視力スクリーニング検査を
自民

問 視力は、視神経の構築が大体7歳ぐらいで完成するため、その前の段階で訓練をしておけば、弱視は治る見込みがある病気のことである。市内の子どもたちの多くが通う保育園や幼稚園での検査は、3歳児健診で漏れた子どもたちへの対応につながり、疾病に対する早期対処にもなる

答 保育所などにおいて、簡易な視力検査によりスクリーニングを実施することは、疾病などの早期発見に資するものであり、対応を検討していきたい。

子ども 子ども習い事応援事業の
充実と検証を
無所属

問 子ども習い事応援事業は、

かを判断するための事業検証・事業評価が極めて重要である。何を

進めていくこととしている。効果については、クーポンの利用状況や、利用者や事業者へのアンケート結果などを踏まえ、検証していく。

問 教育環境の充実により人材が育ち、都市の発展につながる。都市の成長で過大規模校が発生するならば教育環境の充実を図るべき。過大規模校の西高宮小学校も、建て替え等あらゆる手法による校舎整備が必要だが所見を。

答 過大規模校も含む全ての学校において、良好な教育環境の確保と維持・改善は、大変重要である。西高宮小学校についても、第2運動場の協議を進めるとともに、将来的な校舎建て替えも視野に入れ、児童数に応じた施設整備を行っていく。



西高宮小学校第2運動場側から見た校舎

教育 生徒や教員、部活動指導員に
とって望ましい環境の構築を
市民ク

問 部活動指導員の数を増やす

競技力向上のための研修の開催などを行い、どのような学校にも対応できるように部活動指導員を配置する取り組みをしてもらいたい

が所見を問う。

答 部活動指導員については、平成30年度から学校への配置をスタートし、これまでの5年間で33名を増員することで教員の負担軽減と生徒の技術力の向上を図ってきた。今後も、部活動指導員の研修の内容をさらに工夫し、部活動の充実に向けていく。

光 地域経済の回復に向けた観光
とMICEの戦略的推進を
自民新

問 観光・MICEにおいてあらためて選ばれるまちとなるには、これまで以上に受け入れ環境の充実や魅力発信のほか、観光とMICE誘致が連動した体制の強化が必要である。観光・MICEに向けた意気込みを問う。

答 段階的な外国人観光客の受け入れの拡大に対応するため、まずは、安全・安心な受け入れ環境の充実を図っていく。今後さらに、観光コンテンツの造成と魅力の発信を進めるとともに、九州各都市との連携を強化し、観光・MICEの振興に努めていく。

光 持続可能な観光地の実現に
向けて明確なビジョンを
市民ク

問 付加価値ある観光地を作り

上げるため、観光地ごとにビジョンを設定し、達成するためどういった体制で臨むのか。現在、改訂作業中の観光・MICE推進プログラムにそいった点も反映し、将来像が見える観光施策を進めてもらいたい。が所見を問う。

答 本市は、観光・MICEの振興に積極的に取り組んできた。今後とも、観光を取り巻く国内外の動きや変化を的確に捉え、地域や事業者とも連携し、持続可能な観光振興に取り組んでいく。

農 食料安全保障に関して
先取りの取り組みを
自民

問 自由民主党の「食料安全保障に関する検討委員会」が

答 食料安全保障の強化は、国民の重要な課題と認識している。本市においても食の安全・安心の確保や農業の持続的な発展が重要である。食の安全確保に取り組み農業者の支援とともにスマート農業の推進等により農業の持続的な発展を目指していく。



自動航行の農業散布ドローン

社 民生委員活動をサポートして
産学官民で高齢者の見守りを
自民新

問 高齢者等の見守り活動には、

民生委員をはじめ地域の力